

平成 27 年度第 9 回北九州臨床リハビリテーション勉強会開催のご案内

腰部骨盤帯の動的安定性の獲得について～多裂筋と梨状筋に着目して

講演要旨

腰部は、その上部の胸郭、下部の骨盤帯をつなぐ不安定な構造であるが、機能的には安定性を求められる部位です。胸郭からの力を骨盤帯・下肢へ伝達、あるいは下肢からの力を胸郭へ伝達するために腰部の動的安定性は欠かせません。近年、腹横筋や多裂筋等のコアマッスル(インナーマッスル)の重要性は既に知るところではありますが、そのトレーニング方法などは研究者によって様々です。

今回は腰部骨盤帯の安定化に関する多裂筋、股関節の安定性に関わる梨状筋の関連性について、その解剖学的視点から捉え、その筋を筋力強化ではなく活性(機能)させる方法を考えていきたいと思っています。

日 時:平成 28 年 3 月 30 日(水)19:00～21:00(受付 18:20)

講 師:野口 敦氏(北九州リハビリテーション学院)

場 所:小倉医療センター 地域医療研修センターかもめ

会 費:会員外参加 4,000 円

■講師プロフィール:野口敦(のぐち あつし)

平成 3 年、長崎大学医療技術短期大学部卒業後、整形外科クリニック等を経て、平成 14 年、北九州リハビリテーション学院設置準備室(翌年開校)勤務、現在に至る。主な活動として、Selective Phys.(北九州徒手療法研究会)を立ち上げ、研修会を開催する。また、九州各県で頸部、胸郭、腰部骨盤帯に関する徒手療法の講演活動を行っている。

出欠は、3月23日(水)までに下記宛にメールでお申し込みください。

メール:北九州臨床リハビリテーション勉強会総務担当 本田まで
kitaben@nifty.com

北九州臨床リハビリテーション勉強会 HP
<http://www7a.biglobe.ne.jp/~kitareha/index.html>